平成２８年度事業報告書

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

特定非営利活動法人まちづくりスポット

１－１　交流スペース　自主企画

市民が気軽に立ち寄れる交流スペースを運営。
まちづくりスポットの活動やＮＰＯ団体の活動を周知する。

▲備えてつなごう命の輪の様子

▲みんな集まれまちスポde文化祭の様子

●事業概要

交流スペースまちスポ飛騨高山の周知や、まちづくりスポットの活動、まちスポサポーターの企画を開催し、訪れた人に市民活動に関心をもってもらうきっかけとする。

●主催イベント内容

	日時／場所	タイトル／内容	参加数
①	平成28年5月3日(火)～5日(木) 10:00～17:00	『おとなもこどももこどもの日』 普段できないことをテーマに、アースアート・百人一首・ぬりえ・水に浮かぶ亀づくり・ウィッシュツリー・巨大シャボン玉を用意。	336名
②	平成28年9月9日(金) 10:00～15:00	『備えてつなごう命の輪！！～あなたの勇気が命を救う～』 高山市消防本部と共催し、救急車の車内見学や心肺蘇生法の指導、AED使用体験を実施。	43名
③	平成28年11月5日(土)・6日(日) 10:30～16:00	『みんな集まれまちスポde文化祭』 フレスポ周年祭と合わせた特別企画として、ハンドメイド作品やミナモグッズの販売、しおり・モビール・アクセサリーづくりやデコパージュなどを開催。	1,272名 （延べ）
④	平成29年1月4日(水)～8日(日) 10:00～18:00	『新春書き初め大会　2017年の抱負を筆で書いてみよう』 交流スペースに書道セットを設置し、来館者に新年の抱負を書いてもらった。	23名

●評価と課題

利用者数は全体的に増加している一方でイベント数は横ばい状態が続いている。一つのイベント数に対する集客数や、イベントがない時のフリースペースとしての利用者数が伸びているとことが理由。今後、交流スペースの利用を伸ばすため利用規定の見直しと利用に対する尺度の共有をスタッフ間で行い、交流スペースを利用したいと思う人が利用できるような環境づくりを進めていく。

１－２　交流スペース　利用登録団体の活動

市民活動促進のため、交流スペース「まちスポ飛騨高山」の場を提供し、地域の交流が生まれる活動を応援

▲女性サークル「グラスアート展示」

▲合唱サークル「ミニコンサート」

●事業概要

飛騨地域の市民活動の発展を目指し、まちづくりスポットが管理運営する、商業施設内の交流スペースの貸館を行う。また、利用団体が交流スペースを利用するだけでなく、活動が広がるために広報や運営の相談も行う。

●平成28年度利用団体登録一覧（新規14(〇囲い)・継続２５）

	団体名	滑動分野		団体名	滑動分野
1	NPO法人ムラのミライ	国際協力	20	てづくりマーケット	経済活動活性化
2	みちのく結心会	災害救援	21	NPO法人飛騨高山わらべうたの会	子育て支援
3	おいでよ！ひゆら	文化・芸術・スポーツ	㉒	森のようちえん　ひだっこやまっこ	子育て支援
4	(株)GOAHEAD WORKS	文化・芸術・スポーツ	23	童心・飛騨高山太鼓団	文化・芸術・スポーツ
5	(公社)認知症の人と家族の会　岐阜支部	保健・医療・福祉	㉔	音符ビッツ教室	文化・芸術・スポーツ
6	ＪＩＣＡ岐阜県デスク	国際協力	㉕	トキメキクラフトショップ	経済活動活性化
7	りほりとみっく教室	子育て支援	㉖	ナリス化粧品　船渡販売所	男女共同参画
8	響き・アカデミー	文化・芸術・スポーツ	㉗	NPO法人しつもん力普及協会スマイル	まちづくり
9	飛騨ママフェスタ実行委員会	男女共同参画	㉘	ワークショップの会	経済活動活性化
10	飛騨産業株式会社	文化・芸術・スポーツ	29	クラフト＆カフェ　木の香	文化・芸術・スポーツ
11	NPO法人活エネルギーアカデミー	環境保全	㉚	おひるねアート　ぽむるきっず	子育て支援
12	株式会社文教スタヂオ	子育て支援	31	飛騨高山国際協会	観光振興
13	高山市民防災研究会	災害救援	㉜	合同会社manabi-ba	科学技術振興
14	NPO法人ぎふNPOセンター	ＮＰＯ助言・支援	33	村田音楽院ムラタミュージックスクール	文化・芸術・スポーツ
15	コープぎふ・おたがいさまひだ	保健・医療・福祉	34	健康音楽の会　ムジクアイサンテ	文化・芸術・スポーツ
16	陰ヨガ空町	男女共同参画	35	すまでざ -Smile Design Project-	文化・芸術・スポーツ
⑰	白川郷村塾	環境保全	㊱	マチの似顔絵屋さん	文化・芸術・スポーツ
⑱	Ａｍａｒａｎｔｈ（アマランス）	保健・医療・福祉	37	おはなしネット　ことだま	文化・芸術・スポーツ
⑲	まちのおんがくしつ	子育て支援	㊳	エンジェルムーン	男女共同参画
			㊴	HIDAKKO PROJECT.	まちづくり

●評価と課題

平成27年度利用登録数３３団体のうち２５団体（75%）が継続し目標の継続70%を越えた。
また、企業・行政の長期利用もあり、例年より収益が伸びた。
活動分野としては文化・芸術・スポーツが多く、初めて飛騨地域の高校生による学生団体の利用登録もあった。
今後も利用団体登録の継続をしてもらえるよう、貸館だけではなく様々方面からサポートをしていきたい。

１－３　交流スペース来館者数

■月別来館者数　　（目標12,000人以上）　　（人）

月	開館日数	午前（9−12）				午後（12−16）				夕方（16−18）				総計				前年比
		男	女	子	計	男	女	子	計	男	女	子	計	男	女	子	計	
4月	26	53	191	129	373	72	196	150	418	34	58	65	157	159	445	344	948	556
5月	27	64	136	117	317	135	209	288	632	35	62	116	213	234	407	521	1,162	−2
6月	27	58	381	133	572	113	549	230	892	38	137	140	315	209	1,067	503	1,779	235
7月	27	51	149	118	318	94	181	235	510	35	71	108	214	180	401	461	1,042	486
8月	26	38	132	100	270	72	122	175	369	25	57	82	164	135	311	357	803	158
9月	26	82	153	130	365	78	134	148	360	25	64	105	194	185	351	383	919	289
10月	27	79	176	107	362	168	274	253	695	34	53	87	174	281	503	447	1,231	−139
11月	23	160	399	364	923	195	390	373	958	52	59	56	167	407	848	793	2,048	415
12月	24	41	351	107	499	89	480	214	783	10	85	40	135	140	916	361	1,417	818
1月	24	91	205	63	359	185	325	95	605	67	127	10	204	343	657	168	1,168	695
2月	24	60	274	189	523	92	284	209	585	15	28	11	54	167	586	409	1,162	157
3月	27	33	90	50	173	88	148	210	446	22	28	34	84	143	266	294	703	−102
計	308	810	2,637	1,607	5,054	1,381	3,292	2,580	7,253	392	829	854	2,075	2,583	6,758	5,041	14,382	3,566

■1ヶ月あたりの平均来館者数

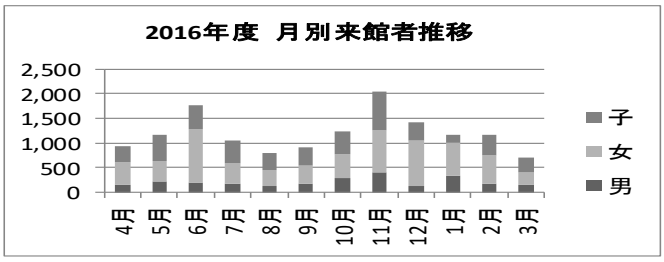
平均	68	220	134	421	115	274	215	604	33	69	71	173	215	563	420	1,199	298

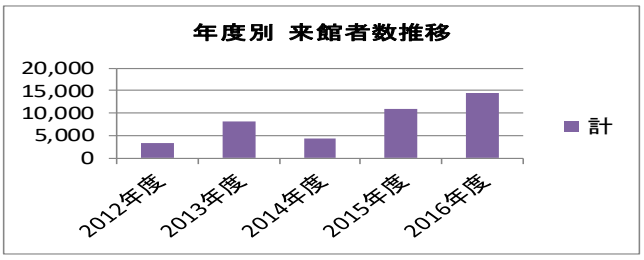
■1日あたりの平均来館者数

4月	2.0	7.3	5.0	14.3	2.8	7.5	5.8	16.1	1.3	2.2	2.5	6.0	6.1	17.1	13.2	36.5	21.4
5月	2.4	5.0	4.3	11.7	5.0	7.7	10.7	23.4	1.3	2.3	4.3	7.9	8.7	15.1	19.3	43.0	1.4
6月	2.1	14.1	4.9	21.2	4.2	20.3	8.5	33.0	1.4	5.1	5.2	11.7	7.7	39.5	18.6	65.9	6.5
7月	1.9	5.5	4.4	11.8	3.5	6.7	8.7	18.9	1.3	2.6	4.0	7.9	6.7	14.9	17.1	38.6	18.0
8月	1.5	5.1	3.8	10.4	2.8	4.7	6.7	14.2	1.0	2.2	3.2	6.3	5.2	12.0	13.7	30.9	7.0
9月	3.2	5.9	5.0	14.0	3.0	5.2	5.7	13.8	1.0	2.5	4.0	7.5	7.1	13.5	14.7	35.3	11.1
10月	2.9	6.5	4.0	13.4	6.2	10.1	9.4	25.7	1.3	2.0	3.2	6.4	10.4	18.6	16.6	45.6	−5.1
11月	7.0	17.3	15.8	40.1	8.5	17.0	16.2	41.7	2.3	2.6	2.4	7.3	17.7	36.9	34.5	89.0	26.2
12月	1.7	14.6	4.5	20.8	3.7	20.0	8.9	32.6	0.4	3.5	1.7	5.6	5.8	38.2	15.0	59.0	34.0
1月	3.8	8.5	2.6	15.0	7.7	13.5	4.0	25.2	2.8	5.3	0.4	8.5	14.3	27.4	7.0	48.7	28.1
2月	2.5	11.4	7.9	21.8	3.8	11.8	8.7	24.4	0.6	1.2	0.5	2.3	7.0	24.4	17.0	48.4	8.2
3月	1.2	3.3	1.9	6.4	3.3	5.5	7.8	16.5	0.8	1.0	1.3	3.1	5.3	9.9	10.9	26.0	−5.0
平均	2.6	8.6	5.2	16.4	4.5	10.7	8.4	23.5	1.3	2.7	2.8	6.7	8.4	21.9	16.4	46.7	11.8

■年度別来館者数推移　※2012年度は2012年11月～2013年3月の4か月間

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
計	3,355	8,030	4,392	10,816	**14,382**





■時間帯別来比率

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度			
午前	―	40.47%	36.63%	35.07%	**35.14%**			
午後	―	48.54%	51.05%	51.71%	**50.43%**			
夕方	―	10.98%	12.32%	13.22%	**14.43%**			

■男性・女性・子ども別来比率

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度			
男性	―	21.66%	29.55%	17.34%	**17.96%**			
女性	―	47.98%	50.71%	48.24%	**46.99%**			
子ども	―	30.36%	19.74%	34.25%	**35.05%**			

■2016年度来館者数振り返り・課題

振り返り

11月～2月冬場の来館者数が上昇。要因は・・・例年来館者数が少ない冬場にも、ハンドメイドの雑貨販売をする女性団体の活動が定期的に入ることで対策となった。

課題

夏場の対策。2017年度は夏に活発な活動をおこなう団体と協力し賑わいづくりをしていく必要がある。

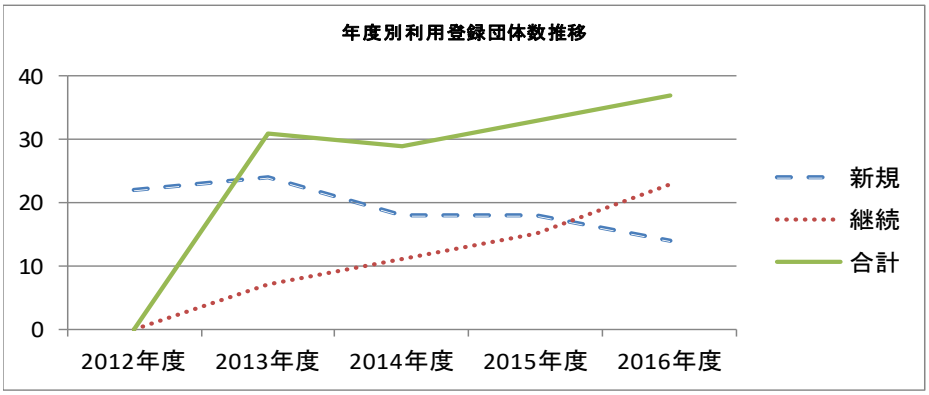
1－4　交流スペース利用登録団体推移

■月別利用団体登録件数　（目標：新規10団体、継続23団体）　（団体）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
計	6	4	1	4	1	6	2	2	3	3	2	3	**37**	4
新規	4	1	1	3	0	2	0	0	1	0	0	2	**14**	−4
継続	2	3	0	1	1	4	2	2	2	3	2	1	**23**	8

■年度別利用登録団体数推移　※2012年度は2012年11月～2013年3月の4か月間

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度			
新規	22	24	18	18	**14**			
継続	0	7	12	15	**25**			
合計	22	31	30	33	**39**			
未継続	—	15	19	15	8			



■分野別登録団体数　※2012年度は2012年11月～2013年3月の4か月間、2016年度は上半期のみ

分野	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	
保健・医療・福祉	5	8	3	5	3	
社会教育	1	1	1	1	0	
まちづくり	1	3	1	1	2	
観光振興	0	0	0	0	1	
地域振興（農山漁村・中山間地）	1	2	0	1	0	
文化・芸術・スポーツ	4	7	4	5	12	
環境保全	1	2	1	2	2	
災害救援	0	0	1	2	2	
安全活動	0	0	0	0	0	
人権擁護・平和推進	0	2	0	0	0	
国際協力	4	2	2	3	2	
男女共同参画	1	3	5	6	4	
子育て支援	3	1	10	5	6	
情報化社会	1	0	0	0	0	
科学技術振興	0	0	0	0	1	
経済活動活性化	0	0	0	0	3	
雇用拡充支援	0	0	0	1	0	
消費者保護	0	0	1	0	0	
NPO助言・支援	0	0	1	1	1	
総計	22	31	30	33	39	0

振り返り

利用団体を継続する団体が増えた。また、活動分野では文化・芸術・スポーツが増え、趣味を楽しむ講座やイベントを行う団体が増えた。

２－１　多世代の交流の場づくり ①毎日の生活をナイスにする会

年齢関係なく楽しめる体の運動。
28年度後期からは脳の運動も開催。

▲映像を見ながらチェアエクササイズの様子

▲コグニサイズの様子

▲チャレンジアートの様子

▲姿勢と痛みをとる運動の講座の様子

●事業概要

若者だけでなく様々な年齢の方にまちづくりへの参画を促すため、気軽に参加できる場として、昨年度に引き続き28年度も継続。全12回開催。昨年度に担当した講師の活動が活性化し講師としての参加が困難になった為、スクリーンに映像を投影してのチェアエクササイズを行った。参加者からの要望で６月からはNPO法人りびんぐの山下氏、リハビリデイサービスひまわりの田町氏が講師となった。頭で計算をしながら同時に体も動かす体操コグニサイズ、姿勢と痛みをとる運動の講座、誰でも自由に創作の楽しさを体験できるチャレンジアートを行った。

◆イベント名	毎日の生活をナイスにする会	◆開催場所	まちスポ飛騨高山
◆開催日時	平成28年4月～平成29年3月（全12回）	◆参加数	５１名（延べ）
◆講師	NPO法人りびんぐ 山下ちはる 氏 リハビリデイサービスひまわり 田町淳 氏	◆共催	毎日の生活をナイスにする会 NPO法人まちづくりスポット
◆評価と課題	チャレンジアートは親子など幅広い年齢からの参加者があったが、地域の行事と重なることが多く開催日により参加者数にもばらつきがあった。姿勢と痛みをとる運動の講座は参加者からの要望が多い。		

２－１　多世代の交流の場づくり　②金城学院大学ふれあいサロン

飛騨高山で地域福祉を学ぶために、
大学生が企画した地域の人々と触れ合うイベント

●事業概要

金城学院大学（名古屋市）の学生が、地域福祉を学ぶ研修の一環として、高山の人々と触れ合いたいと昔から飛騨地域で愛されているお菓子作りを企画。当日は飛騨地域に伝わる郷土料理などの文化に詳しい神出加代子先生に教わりながら甘々棒を行った。

甘々棒作りの様子▶

●事業の成果

◆イベント名	ふれあいサロン　みんなで作ろう甘々棒	◆開催場所	まちスポ飛騨高山
◆開催日時	平成28年8月27日(土) ①10:30～12:00　②13:30～15:00	◆参加数	26名（延べ）
◆講師	神出 加代子 氏	◆共催	金城学院大学・朝倉ゼミ NPO法人まちづくりスポット

◆評価と展望　企画は金城学院大学の学生が行い、広報は当法人がチラシの配布を行った。当日は、年配の参加もあり子どもたちや大学生と一緒に甘々棒作りを楽しんだ。来年度も大学生の研修の一環でイベント企画をしたい。

２－１　多世代の交流の場づくり　③カタリベカフェ

ママのための座談会♥
自由になんでも話せる場

●事業概要

育児ノイローゼになりがちな昨今。飛騨地域で子育てをする母親のリフレッシュの場として、気軽な情報交換や共感の場、出会い、繋がりづくりの場を目的に初めて開催。

●事業の成果

◆開催日時	平成29年2月27日（月）	◆開催場所	まちスポ飛騨高山
◆開催時間	10:30～12:00	◆参加者数	親子12組
◆主催	NPO法人まちづくりスポット		

◆評価と課題　様々な家庭環境の親子12組が集まった。子どもの年齢制限をしなかったことにより、経験者から現実味のあるアドバイスなどがあり参加者の満足度が高かった。また、後半は同じような家庭環境ごとに集まりグループトークをしたことで、現在抱えている悩みや得たい情報など積極的に交流が行われた。『ざっくばらんに自由に安心して話せる場』として今後も継続していきたい。

▲12組の親子が集まり自己紹介

▲“子育てあるある”話で盛り上がりました！

２－２　若者を対象としたまちづくり　ワールド・バー

若者がまちづくりに参加しやすいまちを目指し、20代・３０代のまちに対する思いや意見を集め、公表・提言することを目的に定期開催

▲グループごとに話し合い

▲大学生も巻き込んだ8月10日の企画

●事業概要

「地域のまちづくりを考える場で若者の意見を聞ける機会が少ない」という市民の声を受け、平成25年度より継続的に実施する若者の意見交流の機会。「ワールド・バーin飛騨高山」と題し、今年度は３回開催した。

	日時／場所	タイトル／内容	参加数
第1回	平成28年8月10日（水） 18:30～21:00 駅前軒	『地域で愛されるものの魅力ってなんだろう？』 まちスポサポーターである大下氏が企画。大学卒業後、Uターンをし観光地で働く中でどうして地域で愛されるものがこんなにもあるのか、理由を知りたいと企画。当日はインターンシップ中の名古屋学院大学の学生10名も参加。	23名
第2回	平成29年1月14日（土） 18:30～21:00 ひだしん さるぼぼ倶楽部サロン棟	『出会いがないならつくればいい！RETURNS』 飛騨市まちづくり協議会「ひだプラす」と連携した取り組みを目指し、交流も兼ねてワールド・バーを開催。年齢も20～40代に拡大し、「出会いがないならつくればいい！」をテーマに話し合いを行った。	18名
第3回	平成29年3月12日（日） 13:00～15:30 ひだしん さるぼぼ倶楽部サロン棟	『高校生×大学生×社会人　わたしの憧れ青春ライフを語ろう！』 ワールド・バー企画で初めて高校生を交えた「ワールド・カフェ」を開催。大学のない飛騨地域の高校生とひだインターン留学で飛騨に訪れている大学生の交流の場をつくった。	23名

●評価と課題

平成28年度はまちスポ飛騨高山外で開催することと、当団体の別事業で連携のある大学や組織との連携に繋がることを中心とした企画を意識した。また、年齢も20代30代にこだわらず、10代～40代に拡大したことによって新しい交流や開催頻度を増やしてほしいという声が生まれた。企画開催数が昨年より1件減少してしまったため、次年度は計画・役割分担を明確にしながら2ヶ月に1回開催をしたい。

２－３　地域産業活性化支援　①ひだインターン留学

大学生のチカラを地域に活かす！学生が経営者の右腕となる実践型インターンシップを開催！

▲第６期インターン終了研修

▲学生募集フェアの様子

▲第5.5期成果報告会の様子

●事業概要

平成26年度に実施した「地域ベンチャー留学in飛騨高山」を継続するため「ひだインターン留学」に改称。人材不足などの問題を解決すべく、中小企業の課題解決や地域活性化を目的に行うインターンシップを実施している。平成28年度で６期目が終了。昨年度と同じく高山信用金庫・飛騨信用組合と共にひだインターン留学実行委員会のコーディネーターとして活動している。

●大学との関わり（学生募集）

内　容	参加人数	開催数	詳　細
授業告知	575名		名古屋市立大学、愛知淑徳大学、名城大学、日本デザイナー学院
学内説明会	37名		愛知県立大学、愛知大学、名城大学
個別説明会	３名	１回	名古屋市立大学
ゼミ説明会	８名	１回	金城学院大学
講演（告知）	140名	２回	岐阜大学
学生対象イベント参加（告知）	16名	１回	NPO法人JAE、まちスポ鳥栖
自主イベント	10名	１回	飛騨×能登local internship school @東京

●評価と課題

平成28年度は、大学との繋がりづくりに重点を置いて活動した。そのため、大学関係者60名以上とつながりができたため、今までよりも多くの学生に対してインターンシップの案内ができるようになった。また、ゼミとの連携も視野に入れている大学もある。昨年度より格段に学生集客力はついたが、未だ独自募集をするには、知名度や集客力が低いことが課題である。また、実行委員会の体制・方針の転換やインターンシップ実施時期の検討を来年度中に実施を予定している。

平成28年度受け入れ企業

(合)HIDAIIYO／(株)駿河屋魚一
八ツ三館／(株)旅ジョブ
(株)ファミリーストアさとう
(株)本陣平野屋／(株)旅館清龍
(株)まごころフーズ　(敬称略)

２－３　地域産業活性化支援　②ワーキングホリデーin飛騨高山

人材不足に悩む農家。大学生対象の滞在型農業研修を開催し、飛騨に愛着を持ち、将来の担い手となる人材の創出。

●事業概要

朝晩の大きな寒暖差によって甘みの多い野菜が採れ、農業の盛んな飛騨地域だが、担い手不足が深刻な課題となっている。夏の収穫実習だけでなく、飛騨の農業研修や、地域での暮らしを体験することで、将来、飛騨で農業をするきっかけにしてもらおうとワーキングホリデーを昨年度より開催した。平成28年度は受入れ農家が昨年より2農家増え、6農家に。また丹生川町受入れ農家組合を組成し、受入れ体制を整えた。

▲日本福祉大学の先生が視察に来高

●事業の成果

◆開催期間	平成28年8月1日（月）～9月30日（金）	◆開催場所	高山市丹生川町内トマト農家５軒／高山市1軒
◆開催頻度	開催期間の1週間を8クール	◆参加学生数	39名
◆主催	丹生川町受入れ農家組合	◆共催	高山市／NPO法人まちづくりスポット
◆評価と課題	前年の参加者が12名、2大学だったのに対し、今年は東京農業大学を中心に7大学、39名の学生が参加してくれた。学生の増加に伴い、受入れ農家も増やすことができた。		

２－４子どもを対象としたまちづくり　地域おしごと発見隊

職業体験イベントを運営するNPO団体へのアドバイス

●事業概要

昨年度立上げサポートを行った新宮地区まちづくり協議会主催のイベント「おしごと発見隊」は、平成28年度以降も継続してイベントを開催できるよう、地域のNPO団体にコーディネーターを移行し、その団体へ書類の提供やアドバイスを行った。

●事業の成果

◆実施期間	平成28年4月1日～平成29年1月12日
◆移行団体	NPO法人飛騨高山わらべうたの会
◆評価と課題	地域のNPO団体がまちづくり協議会に関わったことで、他のまちづくり協議会にもよい参考事例となった。来年度以降は近隣のまちづくり協議会と連携しながらイベントを広げていく予定。

２－５新規事業立上げ支援

美濃和紙を使ったアクセサリー商品開発するための支援

●事業概要

宮川朝市通り沿いでお土産処を経営している(株)スカイワールドと、飛騨地域で活動するハンドメイド作家を繋げアクセサリーの商品開発を行った。

●事業の成果

◆販売店舗	ちよやちよ（和紙専門お土産処）
◆依頼経緯	他所から仕入れる(作成する）よりも、飛騨から他所へ発信していけるものはないかと考え、飛騨の作家を探していた。この店舗のメインターゲットが女性であるため、アクセサリーの商品開発が決まった。
◆展望	オリジナル商品に力をいれ、県外へ飛騨の魅力を発信していきたい。
◆関わり	てづくりマーケットのメンバーを繋げた。

３－１　企業とNPOの協働支援　①ぎふ太陽の恵みプロジェクト

次世代にクリーンエネルギーの重要性を伝える環境教育・保全活動のサポート

●事業概要

大和リース株式会社が管理しているDREAM★Solarぎふ太陽光発電所。地域貢献事業の一環として、「環境と調和する、人に優しい都市岐阜」づくりを推進するため岐阜市の学生を対象に、施設を安全に見学できるよう保全活動のサポートをした。また、この取り組みを高山市の市民にも知ってもらうため、ソーラーカーのキット工作を通した環境教育も初めて開催した。

▲ソーラーカーキット組み立ての様子

●事業の成果

◆イベント名	夏休み!!親子でソーラーカー工作 ワクワク!!親子でソーラーカー工作	◆開催場所	まちスポ飛騨高山
◆開催日	①平成28年7月31日(日) ②平成29年2月12日(日)	◆参加数	①27名 ②31名
◆講師	NPO法人森と水辺の技術研究会 野村典博氏	◆対象	保育園年少～小学6年生 ※小2以下は保護者同伴
◆評価と展望	「子どもがとても盛り上がるイベントだった！」という喜びの声をいただいた。参加者は普段、子どもと接点の少ない父親との参加が多く、親子でソーラーカー工作だけでなく、自然エネルギーについても学ぶことができた。		

３－１　企業とNPOの協働支援　②まちスポ神戸

交流拠点「まちスポ神戸」の運営委員会参加によるアドバイス

●事業概要

認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸（以下、CS神戸）が地域交流所拠点としてまちスポ神戸（神戸市垂水区）を運営。上記法人と協働する大和リース㈱神戸支店より依頼を受け、運営委員会でのアドバイザー参加及び地域団体からの助成金審査員を担った。

●事業の成果

◆実施期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
◆評価と課題	他まちスポとの連携を目的に、NPO職員のインターンシップの受け入れや、全国まちスポ交流会での講師依頼等積極的な連携を図った。今年度からCS神戸と大和リース㈱の間で平成30年4月にまちスポ神戸のNPO法人化を目指す協議が始まっている。

３－１　企業とNPOの協働支援　③富山市まちなかサロン調査

コミュニティケア拠点づくりのための調査分析

●事業概要

旧総曲輪小学校跡地に開発された官民複合施設「総曲輪レガートスクエア」に建設中の「富山市まちなか総合ケアセンター」内に「まちなかサロン」を設けるにあたり、地域コミュニティの活性化と人と人が支え合うまちづくりの核となるよう、地域資源や先進事例を調査・分析し運営手法の検討を行った。

●事業の成果

◆調査期間	平成28年7月15日～平成29年3月31日
◆評価と課題	地域調査やまちなかサロン研修会を通じて、まちなかサロンが単なる貸館ではなく、活動を相談できる窓口を配置することで、地域の活動を後押ししていく場として期待されていることが分かった。また、官民連携をスムーズに行うため協議会の提案も行った。

3－2 NPOの運営支援　①まちスポ恵み野

北海道恵庭市のNPO法人まちづくりスポット恵み野に向けた場の運営アドバイスと人材育成の実施。

●事業概要

平成27年9月2日にNPO法人となった北海道恵庭市の「まちづくりスポット恵み野」。昨年度に引き続き、事務局スタッフに対しアドバイザーとして事業計画づくり、交流スペースのルールづくり、NPO法人の運営や広報、経理業務等の人材育成を行った。
また、地域住民に対してのワークショップやNPOへのヒアリングに協力し、場の周知とNPO活動の活性化を図った。

▲交流スペース「まちスポ恵み野」

●事業の成果

◆実施期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
◆評価と課題	平成27年度来館者数が2,349名だったまちスポ恵み野が今年度は4,000名を越えた。徐々に市民への場の周知が広がり、恵庭市内の子どもが主体的にイベントを企画したりグループを作るなど市民活動の広がりもみせつつある。一方で意志決定となる事務局長が不在であるため、市民の声を拾った活動の展開を図れていないことが課題。組織運営の意志決定、事務作業を見直していく必要がある。

▲若者の意見交流のためのワークショップ

3－2 NPOの運営支援　②まちスポ鳥栖

交流スペース「まちスポ鳥栖」オープン。伴走支援で場の運営アドバイスと人材育成をおこなった。

●事業概要

佐賀県鳥栖市で仮認定NPO法人とす市民活動ネットワークが大和リース(株)の支援を受け、展開するまちスポ鳥栖事業。 平成28年7月2日にフレスポ鳥栖内に交流スペース「まちスポ鳥栖」が開設された。スモールビジネス・ソーシャルビジネス等を始める人・団体を応援することを目的に活動するまちスポ鳥栖。その人材選定、事業作りや高山での活動をはじめとした全国の中間支援団体のノウハウを提供した。まちスポ鳥栖は平成30年のNPO法人化を目指している。

▲交流スペース「まちスポ鳥栖」

●事業の成果

◆実施期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
◆評価と課題	まちスポ鳥栖の常勤スタッフの選定及び当初に掲げた事業計画は遂行。事業を運営していく体制は整いつつある。また、国際交流イベントも定期的に行い、行政からの認知も広がりつつある。NPO法人を目指すにあたっての人材育成と核となる事業の策定、とす市民活動ネットワークが行政からの補助を受けて展開するNPO中間支援センター「とす市民活動センター」との連携の課題が残っている。

▲商業施設の空きテナントを活用した活動

3－2　NPOの運営支援　③第３回 全国まちスポ交流会

次なる一歩に向けて。
全国のまちスポが集い、学び、意見を交わした2日間

●事業概要

年に一度開催される全国まちスポ交流会。今年度は千葉県千葉市稲毛区にあるまちスポ稲毛にて開催された。2日間にわたり開催された交流会で、中間支援組織のスタッフとしてのスキル・モチベーション向上のための研修や、お互いの活動の情報交換を行った。

▲全国のまちスポが千葉県に集結

●事業の成果

◆開催期間	平成28年11月24日（木）～11月25日（金）
◆評価と課題	スタッフ全員で参加できた交流会。事前課題の取り組みも含め有意義なものとなった。1日目の中長期計画で立てた3年後のビジョン「現スタッフの既婚率50%以上！！」の達成に向け、綿密な計画を立てて行動したい。 2日目の研修では、ロールプレイングを行い、利用者の立場を体感したことで、中間支援スタッフとしての関わり方を再確認することができた。 交流会での学びや体感を、スタッフだけのものにせず、利用団体や地域の方々にも広げることが重要だと感じる。

▲交流会の様子(まちスポ稲毛にて)

４－１ まちそだて相談

想いを形にするお手伝い。
NPO法人や市民活動団体の設立を後押し。

●事業概要

NPO法人や市民活動団体の設立を検討している個人・団体・サークル活動・ボランティア活動を始めたい人の相談を受付。NPOや市民団体と頼り頼られながら事業を発展させるような関係を築く。

●平成28年度相談件数（事業別）

相談内容	件数
①交流スペース利用に係る事業	31件
②まちづくりの推進に係る事業	84件
③ネットワーク事業	42件
④人材育成及び研修に係る事業	76件
⑤広報活動に係る事業	10件
⑥その他目的を達成するための事業	11件
【合　計】	254件

●相談件数のうち　まちスポ飛騨高山利用団体別件数

利用団体名	件数	利用団体名	件数
NPO法人　ムラのミライ	2件	NPO法人　ぎふNPOセンター	2件
(株)GOAHEAD WORKS	1件	コープぎふ・おたがいさまひだ	2件
日本イベント企画株式会社	1件	Ａｍａｒａｎｔｈ	2件
アニマルレスキュー飛騨	5件	てづくりマーケット	4件
(株)マイナビ地域のコミュニティデザイン事業本部	5件	NPO法人　飛騨高山わらべうたの会	12件
りほりとみっく教室	5件	NPO法人　しつもん力普及協会スマイル	3件
響き・アカデミー	1件	ワークショップの会	1件
飛騨ママフェスタ実行委員会	1件	OLA	2件
村田音楽院　ムラタミュージックスクール	1件	すまでざ-Smile Design Project-	1件

■月別まちそだて相談件数　　（目標240件）　　（件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
相談件数	18	30	24	27	15	17	18	17	16	21	29	22	254	63

内訳　交流スペースの利用促進31件　まちづくりの推84件　ネットワーク42件　人材育成及び研修76件　広報活動10件　その他目的を達成する為11件

■年度別まちそだて相談件数推移　※まちそだて相談2013年度より開始

年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	
上期	21	81	88	**131**	
下期	32	43	103	**123**	
合計	53	124	191	**254**	

■2016年度　NPO法人設立一覧

なし

■年度別NPO法人設立支援件数推移

年度	数
2013年度	2
2014年度	4
2015年度	3
2016年度	0
計	9

■設立支援NPO法人　活動分野

活動分野	数
保健・医療・福祉	3
NPO助言・支援	3
子育て支援	1
まちづくり	1
地域振興（農山漁村・中山間地）	1
計	9

振り返りと課題

前年度までにNPO法人の設立支援をした団体からの相談件数が飛躍的に増えている。まちスポ飛騨高山の利用登録をしている任意団体から、NPO法人設立の相談があったが、今年度NPO法人設立までには至っていない。引き続きメンバーの思いを聞くことから、設立の支援を続けていく。

４－２ まち・ひとそだて講座

戦略的な事業組立を考えるきっかけづくり。
戦略マネジメントゲーム勉強会定期開催。

●事業概要

市民活動やNPO活動を行う人だけではなく、飛騨では今、男女関係なく志をもって起業を目指す人が増えています。具体的な経営・会計の感覚を身につける有効な手段として、昨年度も実施した戦略マネジメントゲームを実施。今年度は定期開催にすることでゲームのルールを学ぶだけでなく、事業の戦略立て、会計の構造まで考察できる仕組みにしました。

▲戦略MG勉強会の様子

●事業の成果

◆講座名	戦略ＭＧ勉強会	◆開催場所	co-ba HIDATAKAYAMA まちスポ飛騨高山
◆実施期間	平成28年4月～平成29年3月（全10回）	◆参加人数	57名（延べ）
◆評価と課題	継続的な講座の開催によって、自社の経営を見直したり、次意識して取り組みたい課題点を各自が意識して取り組む様子が見られた。また、参加者の中からこのマネジメントゲームを地域で持続的に開催できるようにインストラクター資格を取得する人も現れ、来年度からも継続的に実施できる仕組みが整いつつあることが成果である。		

４－３　専門講師による講座の開催　①助成金申請ワークショップ

飛騨地域の元気な方々の事業活動を、
事業計画や資金調達の面から応援するセミナー。

●事業概要

資金調達、助成制度が知りたい。同じ志を持つ仲間と繋がりや思いを形にしたいなどを考える個人または団体向けに、申請書の書き方やノウハウが学べるセミナーを開催。今年度は、東海三県を中心に志ある方を支援してる「NPO法人地域の未来・志援センター」と、街のコンシェルジュとして飛騨・高山×クラウドファンディングなども行っている「飛騨信用組合」とコラボし個人の方も参加しやすいセミナーとした。

▲審査員の視点を学んでいる様子

●事業の成果

◆講座名	助成金＆クラウドファンディング申請ワークショップ	◆開催場所	まちスポ飛騨高山
◆開催日時	平成29年1月9日（月・祝）13:00～16:30	◆参加数	12名
◆協力	NPO法人地域の未来・志援センター／飛騨信用組合	◆参加費	500円（資料代）
◆評価と課題	セミナー終了後ほぼ全員がそのあとの交流会に参加し、他団体との繋がりを持つことができた。ただ、まちスポ助成金の申請へ繋げることができなかったため、来年度はまちスポ助成金申請に向けて、パッケージ化したセミナーを開催したい。		

４－３ 専門講師による講座の開催 ②写真を撮ってみナイト＆デイ

住民の交流と広報力の向上を目的に写真撮影講座を開催

●事業概要

住民の交流を促進すること、広報力の向上を目的に市内写真館より講師を招き写真撮影講座を開催。構図の説明、ぼかしの入れ方などの座学と実際に屋外で写真撮影を行い、参加者同士の交流を深めた。

●事業の成果

◆講座名	①オシャレな写真を撮ってみナイト☆ ②オシャレな写真を撮ってみるデイ☀
◆開催日時	①平成28年5月27日(金) 18:30～21:00 ②平成28年8月31日(水) 10:00～11:30
◆開催場所	まちスポ飛騨高山
◆参加数	①7名　②7名(親子2組)
◆講師	中川真由子氏、山口彩氏(株式会社文教スタヂオフォトスタジオチャオ高山店)

４－３ 専門講師による講座の開催 ③戦略マネジメントゲーム

意思決定が売り上げを左右する！経営と会計の流れをゲームで楽しく理解！

●事業概要

昨年度より、NPOの経営力強化を目的に実施。平成28年度も芝先生を招き2日間研修を開催した。1日目は初心者向け、2日目は経験者向けに内容を変えることで学びを深めた。

●事業の成果

◆講座名	戦略マネジメントゲーム
◆開催日	①平成28年9月24日(水)〈ビギナー〉 ②平成28年9月25日(木)〈ステップアップ〉
◆開催場所	まちスポ飛騨高山
◆参加数	①10名　②9名
◆講師	芝 香氏 (ネクストソサイエティ株式会社・代表取締役)

４－４　視察の受け入れ

まちづくりスポットの設立経緯・各事業の取り組み事例の紹介

●事業概要

地方自治体や企業、NPO、大学などから合計12団体（約128名）の視察受け入れを行った。

▲奄美大島DMO視察受入れの様子

▲韓国カンウォンランド社視察受入れの様子

●平成28年度受け入れ団体

日程	団体名	日程	団体名
5/5(木)他	明治大学専門職大学院ガバナンス研究科	10/20(木)	大韓民国世宗特別自治市青春鳥致院課
5/11(水)	㈱三四五建築研究所、㈱リイフス 大和リース㈱富山営業所	10/31(月)	NPO法人富士北麓まちづくりネットワーク
6/10(金)	浜松市立開成中学校（生徒）	11/16(水)	韓国カンウォンランド社
7/7(木)	韓国都市景観デザイン学会	12/11(日)	市民活動サポートセンターとやま
10/13(木)	奄美大島DMO （行政・奄美大島物産観光協会 等）	1/30(月)	南海電気鉄道㈱
10/14(金)	㈱キネテック	2/16(木)	平塚市職員

４－５　研修・講演の開催

企業とNPOの協働方法や地域づくりの
ノウハウを伝えるための研修や講演を開催

●事業概要

平成28年度は大学生に対する研修やNPO活動の啓発活動、スキルアップを目的とした講座等を行った。

▲広報力アップ研修
～私にもできた！こんな素敵なチラシ～

▲「観光学」を開講で飛騨地域の事例紹介

▲協働のまちづくりフォーラム
ファシリテーターの様子

●事業の成果

目　的	実施団体	参加合計	合計件数
受入研修	①名古屋外国語大学（6月19日～20日・7名） ②名古屋市立名東高等学校（8月19日・4名） ③金城学院大学（8月25日～28日・12名） ④NPO法人名古屋NGOセンター（9月17日～20日・12名） ⑤NPO法人ぎふNPOセンター（1月30日・6名）	41名	5件
講演依頼	①名古屋市立大学 人文社会学部講演（6月1日・90名） 「観光学」を開講にあたり飛騨地域の事例紹介 ②久留米大学 経済学部「非営利組織論」講演（6月16日・40名） 「まちづくりスポットの取り組み」について紹介 ③株式会社エイエイピー（11月5日・30名） 「まちスポの設立経緯・活動」について紹介	160名	3件
講師派遣	①NPO法人ぎふNPOセンター（7月11日・21名） 「達人から学ぶ！伝えるコツ！広報力アップ研修」 ②東海市民社会ネットワーク設立大会（10月23日・70名） 「東海市民社会ネットワーク設立大会設立記念シンポジウム」 ③株式会社マイナビ（12月5日・11名） 「岐阜県転職支援プリジェクト　プロフェッショナル人材流入促進事業」 ④NPO法人まちづくりスポット恵み野（1月21日・24名） 「チラシ作成講座」 ⑤高山市協働のまちづくりフォーラム（2月26日・100名） ⑥久々野まちづくり運営委員会（2月27日・11名）	237名	6件

◆評価と課題　平成28年度講師・研修依頼は14件。平成27年度5件に対して、9件多く依頼が増えている。当法人の活動が地域外のセクターに周知されつつあることがわかる。
内容をみると、NPOと企業の協働事例を伝える機会の他、飛騨で行うインターンシップの取り組みを講演する機会も増えつつある。また、まちスポ職員のスキルの評価をいただき情報発信講座等の依頼も増えつつある。

４－６　インターンの受入れ

新たな地域づくりを担う若者の育成を目的に
日本人大学生や留学生のインターン受入れを実施。

●事業概要

アジアの若者に日本のNPO活動や日本社会を知ってもらいたいと始めた留学生のインターン受入れ。今や、留学生に留まらず、地域に興味・関心を持つ日本の大学生が増えている。そこで、学生の目的や個性を活かしたインターンプログラムを提供。

▲李佳洋さん　インターン中の様子

▲カン ソヨンさん　インターン報告の様子

●インターン生詳細

名　前	大学名	期　間	目的・内容
李　佳洋	岐阜大学	平成28年08月	日本人との交流をしたいと思いインターンに参加。日本と中国の文化の違いに関心をもち、その違いについて調査・報告した。
カン　ソヨン	岐阜大学	平成28年09月	歴史に関心があり、参加。インターン期間中のとあるイベントで「韓国人はどうして日本を嫌いなのか」という子どもの質問に衝撃を受け、その歴史背景について調査した。

４－７　まちスポ飛騨高山助成金

飛騨地域のNPOや市民活動団体に対し、新しい活動を始めるための
後押しとなる助成金の交付。

●事業概要

まちスポに寄せられた寄付金を原資に、NPOや市民活動団体の活動を応援するため助成金を設置。地域住民同士が繋がり、新しい活動を始める一押しをした。今回はオブザーバー（傍聴者）を招き、初めて公開審査という形式をとった。それにより、自分たちの活動を知ってもらいより多くの共感を得るきっかけとなり団体同士の交流にも繋がった。

●事業の成果

団体名	助成活動名	助成金額
おはなしネット ことだま	絵本の楽しさを伝える絵本学習会。絵本を通して、親子で楽しさを共有することでコミュニケーション力を高める。	50,000円
自然保育所 つちのこ	開所に関わる保育室、園庭の整備。自然の中での保育を通し、未来を担う子どもたちに“生きる力”を育む。	50,000円

■５　広報活動に係る事業

５－１　メディア掲載・賛助会員・寄付状況

ホームページ・SNSによる情報発信、ボランティア及び賛助会員の募集。会報紙発行による活動報告・情報発信

●事業概要

チラシ作製やホームページ、SNSなど、各種媒体を利用し、イベントや活動内容を報告。フェイスブック配信、新聞・雑誌への掲載、毎月会報を発行し、活動報告と情報発信を行った。

●事業の成果

媒体名	掲載数
新聞	３３件
雑誌	１７件
テレビ	２件
ラジオ	８件
【合　計】	６０件

手作りの服や雑貨類を販売
まちスポ飛騨高山
手作りの服や雑貨を販売する「てづくりマーケット」が二十二日、高山市天満町のまちスポ飛騨高山で始まった。二十七日まで。飛騨地域の作家十四人が作った、布製の服やレジンという樹脂で作ったアクセサリー、編み物やバッグなどが多く並ぶ。装飾した卵の殻に観葉植物が入った作品など、作家の工夫が光る。ボタンや金具など、材料も豊富にそろっている。
出品した高山市片野町の熊崎靖子さんは「それぞれの個性が出ている。ゆっくり見てほしい」と話している。午前十時から午後六時で、二十七日のみ午後四時まで。（片山さゆみ）
手作りの雑貨や服が並ぶ会場＝高山市天満町で

▲中日新聞　平成28年6月23日（水）
まちスポ利用団体（てづくりマーケット）

▲会報デザインリニューアル

■NPO法人まちづくりスポット　月別賛助会員・寄付件数（個人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
登録件数	12	29	8	12	4	7	40	10	8	3	12	5	150	-82

■NPO法人まちづくりスポット　月別賛助会員・寄付件数（法人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
登録件数	9	2	2	0	0	3	1	0	1	3	2	3	26	2

■NPO法人まちづくりスポット　賛助会員・寄付構成

	件数	金額
個人	150	470,200

	件数	金額
法人	26	373,022

■年度別賛助会員件数推移　※2012年度は11月～3月分、2016年度は上半期

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
個人	115	137	157	232	**150**
団体	0	24	27	24	**26**
合計	115	161	184	256	**176**

振り返りと課題

全国にまちスポが増えたことで、寄付の分散があり個人の賛助会員が減った。
来年度は、地域の企業や住民に広く支援してもらえるよう広報面の強化をしたい。

5－2　利用団体PRプロジェクト　ハローライフ

まちスポ利用団体の活動や情報を1枚のパネルにまとめ掲示。同時に仲間集めも行う、広報支援プロジェクト。

●事業概要

まちスポ利用団体の活動内容や連絡先などの情報を1枚にまとめたパネルを全25枚作成。それらを交流スペースに展示し、イベントとして団体の広報支援をした。それと同時に人材不足に悩んでいる団体は求人票（ハローカード）を作り、仲間集めの支援も行った。

▲展示風景

▲求人票となるハローカード

◆評価と展望

パネル作成を行う中で、関係性が薄れていた団体との関係を再構築することができた。3年前のまちスポオープン企画で同様のパネル作成を行ったが、今とは活動内容が違っており、最新の情報が知ることができた。
展望は、パネル展示のみで大規模な集客はなかったので、今後はほかのイベント性を持たせて展示を行うことと、飛騨地域内で活動している団体の存在をアピールしていくことが中間支援として必要と感じたため継続した展示を行うこと。